

## 2021 年度 第 2 回理事会 議事録

一般社団法人日本損害保険代理業協会

日 時：2021 年 6 月 10 日（木）13：00～17：01

会 場：日本代協会議室（東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 321 区）

出席者：全理事数 18 名、出席理事数 18 名、出席監事数 1 名（津田文雄）

リアル出席：金子会長、山口副会長、横山副会長、小田島副会長、小俣副会長、野元専務、小見常務

WEB 出席：11 理事、1 監事は各事務所から WEB 出席

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、三度目の緊急事態宣言も延長となり、オリンピック・パラリンピック開催により海外から約 8 万人が来日する見込みなど、感染拡大に対する不安感をぬぐえない状況にある。

本日理事会、明日の総会・会長懇談会もハイブリッド縮小形式で開催せざるを得ない状況であるが、各理事にはコロナ禍の中、代協活動について尽力いただき、感謝申し上げます。今後の会議開催については、オリ・パラ終了後の様子を見て、最適な会議形態を検討し、招集をかけさせていただく。

### < 業務報告 >

・5/11(火)社労士会連合会にて、松本理事・野元専務理事の同席のもと、覚書調印を行った。代協会員の労働環境の整備と中小企業顧客への情報提供による経営支援力強化を目的として、社労士会が推進する「社労士診断認証制度」を組織として活用するため、「全国社会保険労務士会連合会(連合会)」と当会で覚書を締結し、協力関係を構築することとした。セミナー開催や社労士紹介等で各都道府県の社労士会と連携を進めてほしい。労働問題に今一度真剣に向き合っていこう。

・次年度は役員等の改選期である。この 1 年、Web 等駆使しながら情報交換を強化してほしい。各副会長に地域担当理事の業務のサポート役を担ってもらう体制を敷いているので、よろず相談を行うなどうまく使ってほしい。

今日、明日と長丁場となるが闊達な論議をお願いする。

## 【審議事項】

### 1. 賛助会員の入会審査

事務局より、賛助会員入会希望者について説明があり、審議採決の結果、全会一致をもって承認された。

#### 【決定したこと】

- ・SD Financial Technology 株式会社の日本代協賛助会員入会を認める。  
名 称：SD Financial Technology 株式会社 代表取締役 松本 明紘  
設 立：2021 年 4 月 1 日  
資本金：1,000 万円  
所在地：東京都豊島区池袋 2-53-5KDX 池袋ウエストビル 2F  
\*SD Financial Technology はソシオ・ダイバシティの 100%出資会社で、  
「保険 VOS」事業ならびに保険関連事業を継承した新設分割会社である。

#### 【主な説明】

- ・株式会社 J C M に続き、2 社目の賛助会員となるが、賛助会費（10 万円）については、各代協の活動を支援する費目で費消することとする。

〔資料 審 1.〕 SD Financial Technology 株式会社賛助会員入会申込書（追加資料 P.1）

#### 【報告事項】

##### 1.2021 年度 事業計画推進状況

地域担当理事ならびに委員会担当理事から、事業計画の進捗状況について、報告があり、確認、共有された。

##### (1) < 地域担当理事 >

- ・6/10 まで開催された 45 代協の総会に参加した理事の報告から、1.議案書フォーマット、2.開催方法、3.議事の進め方（進行次第の作成など）について大きなバラツキがあることが確認された。標準化していくことが望ましい。  
（提出いただいた各代協の議案書をチェックするとともに「ひな型」の提供を検討する）  
昨年の縮小リアル開催においても、総会・セミナー・懇親会の企画・運営（招集通知の構成[名称、財務諸表の種類・順序、式第の順序、倫理綱領・募集規範等]、会場席次、国旗・会旗の位置などを含む会場設営、保険会社や損保協会の参加の有無等）について、各代協にかなりのバラツキがあることが確認されたが、開催方法も合わせ、改善が図られていない。
- ・Web 会議が続いていたが、リアルで対話することができ、意思疎通を実感した。
- ・「仲間づくり推進」のちらしづくりを契機に、委員会の縦割りを一部崩し取り組んだ結果、連帯感が増し、活性化につながった。
- ・損保会との連携において、支払部門の管理者・実務者会議にも参加できるようになった。
- ・財務局との関係構築ができている地域と不十分な地域がある。
- ・「代協は労働組合ではなく、圧力団体でもない。代理店・募集人の資質向上という会の目的に共感した人が経費を支払い参画する組織である。」ということを改めて伝えている。
- ・アクションシートで各代協と課題把握のキャッチボールをしているが、拾い切れない情報をどう把握するかが課題である。財務局、地方紙との関係構築も重要な取り組みである。
- ・理事会の Web 開催には慣れてきたが、委員会や支部会はそのレベルに至っていない。
- ・事務局のバラツキも散見される。事業計画とおり事務局職員研修もテーマごと企画実践をお願いします。
- ・組織活性化のハブとなるのはやはり「事務局」、事務局機能の強化のため、保険会社 OB・

OGの採用が有効と考える。

- ・BCPに関する取組について、委員会における推進取組みについて改めて整理したので確認いただきたい。企画環境委員会ではチャンネル間競争力強化の観点から、  
・事業継続力強化計画認定取得、  
・社労士診断認証制度、  
・リスクマネジメント講座の開設に取り組む。  
CSR委員会では、緊急時の体制構築の観点から、  
・BCPの策定と定期的な訓練、見直しの実施、  
・「ハザードマップ」の活用、周知に取り組む。

〔地域別委員会別資料〕事業計画アクションシート（地域別委員会別資料P.1-18）  
事業計画アクションシート（追加資料P.20-21）

## (2) <委員会担当理事>

### 企画環境委員会

- ・松本委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された。
- ・共通化・標準化の検討：追加提案5件あり、32件となった。東京代協から商品・料率規定等に関する具体的な提言をいただいたので、委員会で取り上げ、確認していきたい。  
委員向けに実施したアンケートでは、オンライン募集（必要性認識92%-実施済22%）、テレワーク（必要性認識87%-実施済37%）という状況であり、意識と取組状況の乖離を埋めていきたい。
- ・不正募集のモニタリング：事案35件中、ディーラー案件が25件、自動車保険27件という状況。錦野弁護士他に協力いただいた「公平・公正な競争環境の創造のために」の動画は委員の視聴率38%と低迷しており、まずは委員の100%視聴から仕切り直していきたい。また、保険金請求サポート業者や特定修理業者への対応については、17件の情報が集まり、リスト化するとともに損保協会と連携を行っている。損保協会のPTが報告シートを作成することとなっている。
- ・チャンネル間競争力強化の検討・提示：本業にリンクする取組に注力する。
  - ・事業継続力強化計画認定の20%取得（2,000社）・強化計画支援企業2,000社（認定代理店が企業顧客1社に実施）
  - ・社労士診断認証制度で、宣言企業3,000社、経営労務診断1,000社、適合企業500社を目指し、社労士会と連携したセミナーの開催等を検討する。各代協の事務局も率先して取り組んでいただきたい。
  - ・リスクマネジメント講座の開設については、7月にタスクフォースを立ち上げて取り組む。中企庁アンケートでは、「リスクマネジメント研修が必要である=95%」に対して「取組不十分88%」とギャップも確認できており、初級・中級・上級編のイメージで教育委員会と連携しながら取り組む。
  - ・新たな提携先の一つとして、ジェネクスト社の「AI-Contact」（交通違反検知システムアプリの導入で事故防止を目指す仕組み）を活用することとし、特約店制度を代協会員優先で利用できるようにしてもらった。セミナーや動画等による周知活動を展開する。
- ・組織委員会で実施予定の「Zoom全国一斉委員会」を企画環境委員会でも実施したい。
- ・「代協活動の現状と課題」のサマライズ版の作成と活用についても、周知活動を展開する。

〔地域別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（地域別委員会別資料P.19）

### 教育委員会

- ・石川委員長より、損保大学課程コンサルティングコースの運営ならびに日本代協アカデミーの一時的システムダウンに関する報告があり、共有された。
- ・損保大学課程コンサルティングコース教育プログラムには、「通信教育の受検」と「セミナーの受講」という2つの修了要件があるが、コロナ禍の現下情勢から予定していた52回のセミナーのうち、開催できたのは12回のみという状況で、「セミナーの受講」の代替策が提供できないか協議を重ねていた。

四半期に1回継続開催されている日本代協と損保協会の打ち合わせの場である合同運営会議で情報交換や提言を行い、損保協会と損保各社との打ち合わせの場である販売調査部会の承認を働きかけていたが、スピード感はじめ一部認識相違があり、なかなか承認が下りない状況が続いた。この度、損保各社の目線合わせが整い、「代替策」の大筋について承認が下りたので、コストを含む具体的な代替策の構築を最優先で取り組む。提供体制の整備が見通せた時点で、受講者に対しては「修了に関するお知らせ」として選択肢を示し、検討いただくこととする。

#### \* 留意事項

- ・通常のプログラムによる修了者との公平性に留意すること
- ・募集人の業務品質向上を目的としている点を踏まえ、一定の実効性ある代替策とすること
- ・2022年3月末までにトータルプランナーの認定取得が可能となる代替策とすること

#### \* 代替策(案)(以下をすべて実施)

- ・セミナー講義動画の配信-視聴
- ・ディスカッション動画の配信-視聴
- ・受講レポートの提出( . . .の動画を視聴したうえで1,000~1,500字で、受講者自身の考え方を論拠とともに述べる形式のもの)

#### \* 代替策の実施に伴い必要な対策

- ・セミナー受講の権利の付与：代替策をもって終了した受講者には任意として2021年度分以降のセミナーの受講権利を付与する。受講期限はコロナの収束状況等を踏まえ、別途定める。
- ・返金対応：あらかじめ募集要項に記載していない内容のため、セミナーの受講および代替策のいずれも希望しない受講者については、受講料69,980円を全額返金する。
- ・セミナーの受講による正規の修了を希望する受講者のために、2021年度分以降のセミナーの受講を可能とする。在籍期間の延長も対応する。

なお、ディスカッションメンバーについては、平時であれば教育委員で対応するところであるが、有事のコロナ禍では無理があるため、東京代協にメンバー選出の協力依頼を行い、東京代協理事会の承認が得られたところである。毎々のご支援に感謝申し上げます。

- ・セミナーのWeb化の検討についても、同時並行で進めている。Zoom配信に関して、昨年度末あたりまでは取扱業者も少なく、売り手市場であったが、漸く潮目が変わってきて複数業者のプレゼンを企画実施できた。適当な業者が見つかったので、詳細の詰めを行う。
- ・日本代協アカデミーが5/31、6/3に一時的ではあるが使用できないシステムダウン状態となったこととお詫びする。開設から2年半が経ち、キャッシュが溜まったことまたは集中化が原因と考えられるが、復旧を第一としたため、原因特定に至っていない。運営者と協

議を行い、再発防止に関する対応策について打ち合わせを実施した。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.20）

損保大学課程コンサルセミナー（2020年度受講者）の代替策等（追加資料 P.6-7）

損保大学課程コンサルコースの「修了」に関するお知らせ（追加資料 P.8）

コンサルセミナーWeb化検討状況資料（追加資料 P.9）

## 組織委員会

- ・中島委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
- ・日本代協組織委員会開催後2週間以内に各ブロックの組織委員会を開催し、委員長がWeb参加するという取り組みを展開している。各代協の委員と会話ができ、現地の実情等を共有できるメリットが確認でき、情報が伝わる組織づくりにつながることを確信している。今後は、組織委員会正副委員長が役割分担をして参加し、情報共有を進める。7/13に全国一斉組織委員Webオリエンテーションも企画しており、楽しみである。
- ・仲間づくり推進では、Webブロック組織委員会を開催する中で、仲間づくり推進の活動について着手が速くなっており、「前倒しの姿勢」を感じとれる状況である。また共通取組として、各代協理事1人あたり1名の未入会代理店リストを作成し、次世代へつなげるリスト\*管理を行うことを展開したい。（\*履歴を残すことができる仕様のリストを作成し、共有する。）
- ・代理店賠償の推進に関しては、まずは組織委員会で年6回代理店賠償勉強会を開催し、委員の知識・スキルを高め合う。基本的補償、他社賠償との比較、セミナー開催上の留意点、事事例に学ぶ、未然防止策、今後の補償を準備している。
- ・代理店実態調査の実施に関しては、東京代協の藤山氏にPTリーダーに就任いただき、4名のメンバーでPTを構成し、始動している。7月理事会で頭出しを行い、9月理事会で承認いただけるよう打ち合わせを重ねる。なお、本調査も代協の魅力の一つであることを伝え、仲間づくり推進につなげる。
- ・福岡の収益事業の取り組みであるが、オリックスのガソリンカード普及で、ガソリン1Lにつき1円キャッシュバックという提携を実現できる見込みである。改めて情報提供する。

〔追加資料〕組織委員会報告シート（追加資料 P.2-3）

## CSR委員会

- ・廣瀬委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
- ・防災・減災の具体的な取組の検討・推進に関しては、新たな取組を模索中である。
- ・継続活動の効果的展開の検討についても、取組方法を見直し中である。サイバーセキュリティ対策では、会員自らの対策を加速させる。
- ・ぼうさい探検隊の積極的推進では、コロナ禍の現下情勢から団体への声掛けも継続はするが、基本的には少人数・家族単位の声掛けを行うこととする。会員・保険会社社員で小学生がいる方や学童保育などへの声掛けが有効と考える。  
タブレットを使った応募も増えて、通常の賞とは別にタブレット賞も設けられた。損保協会作成のタブレット操作動画を活用いただきたい。CSR委員会では共有済み。  
2021年のマップ提出締切は11/4（木）である。
- ・「ハザードマップ活用基本ガイド」や「代理店BCP基本訓練ヒント集」を活用した勉強会やセミナーを実施する。組織委員会の取り組みを参考にして、ブロックのCSR委員会にWeb参加できるよう各ブロックに要請している。CSR委員会でも「活動チェックシート」を使

用しているが作成は各代協の事務局に依頼するのではなく、各 CSR 委員が作成することを再徹底した。

- ・ボランティア活動もコロナ禍の現下情勢では実施が難しいが、集まらずに実施可能な取組を模索中である。

〔地域別委員会別資料〕CSR 委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.21）

## 広報委員会

- ・野原委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
- ・2021 年度 PR 企画制作に関しては、BID 参加を希望する動画制作会社に対して、PR 企画の目的を伝え、企画案を練っていただき、6/15 の広報委員会にて選考会を実施する。現時点で 4 社からプレゼン企画案が提出されている。  
2020 年度 PR 企画動画については、各地で地震発生等があると、その地域での視聴数が増えるという状況が確認できている。
- ・ホームページの活用については、前年度作成したガイドラインを基に、各代協のホームページのチェックをブロック担当広報委員で行うこととしているが、ブロック協議会に参加していない委員もあり、地域担当理事やブロック長との連携方法など共有を図れる仕組みづくりに取り組む。
- ・「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた具体的推進については、認知度向上を図るため、お客様の声を集める取り組みを行うこととした。  
7 月号にアンケート回答のための QR コードを掲載し、回答要請を行う。  
『みなさまの保険情報』活用のご案内（会員向け）Youtube 動画の視聴もフォローする。  
<https://www.youtube.com/watch?v=ZQ13wClxUAI&t=236s>  
ブロック協議会、各代協役員会、支部会、オリエンテーションでの活用を推進する。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.21）

## 2. 前回理事会（2021.3.4 開催）移行の主な業務報告

### (1)2021 年度「仲間づくり推進」（代協会員増強）の実施 5 月末の報告

事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の実施 5 月末状況の報告があり、確認、共有がされた。

#### 【主な内容】

- ・入会 62 店、退会 154 店（内合併等は 78.6%の 121 店）合計 92 店で合計 11,252 店となった。
- ・京都 3 店の年間目標達成、奈良 3 店で 75.0%達成、山口 2 店で 50.0%、香川 2 店で 40.0%、石川 2 店 33.0%、大阪 4 店 33.0%、熊本 2 店 33.0%と 6 月末連 Q 稼働目標を達成した。
- ・代申社別では SJ 34 店、TN 25 店、MS 13 店、AD 12 店、AIG 6 店、日新・楽天 2 店、大同 1 店と減店となった一方で共栄 +2 店と増店。

〔資料 報 1.〕2021 年度「仲間づくり推進運動」5 月末状況の報告（代協別/代申社別）（追加資料 P.4-5）

### (2) 損害保険大学課程

事務局より、資料に基づき、損保大学課程の各コースの認定状況等、認定バッジ申込状

況について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

損害保険トータルプランナーの認定状況等

4月末時点	損害保険トータルプランナー	17,549名(+31名)
	認定有効者数	15,269名(0名)
	代理店検索機能登録	4,330店(+10店)
	損害保険プランナー	89,030名(+217名)
	有効認定者数	37,465名(±0名)
	ゴールドカード保有者	7,206名(+24名)

認定バッジ申込者数推移

代協単位の団体購入も数代協で行われ、5月末合計1,034個が購入されている。

購入数の多い代協：北海道85、大阪79、東京69、福岡47、神奈川40。

〔資料 報2.〕1.損保トータルプランナー認定状況等 4月末状況(P.1-2)  
2.認定バッジ申込状況(席上配付、全国会長懇談会追加資料P.2)

(3) 日本代協アカデミーの展開状況

- ・事務局より、資料に基づき、2021年度の日本代協アカデミーの推進状況について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・利用者ID登録については、2021年度目標1,882IDの登録に対し、7IDと達成率は0.4%である。(累計は958会員、6,758ID。)
- ・加えて、会員の体制整備状況に比例して、活用状況のバラつきが見られるため、コンテンツの充実と並行し、アカデミーの価値に関する更なる動機付けが課題である。  
保険代理店は人の産業であり、経営者も含めた人材育成・能力向上は代理店成長の最大のポイントであり、学び続けることは生き残りの最低条件となる。企業文化(カルチャー)として「学ぶ文化」を作り上げ、互いを高め合う環境構築を目指す会員を支援する。

〔資料 報3.〕日本代協アカデミー集計レポート(代協別)(追加資料P.10)

(4) 代理店経営サポートデスク相談対応状況

事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応状況について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・2021年度11件の相談があった。代理店合併・事業承継2件、代理店BCP・事業継続力強化計画1件、代理店労務管理2件、代理店経営全般3件、体制整備等3件という分類となっている。
- ・1件当たりの相談対応時間が長くなっており、今年度から水曜だけでなく木曜も電話相談を受け付けている。代協会員だけのメリットであり、情宣をお願いする。
- ・日本代協アカデミーの利用代理店が次世代の人材育成に活用できる「代理店経営未来塾(仮称)」も下期のスタートに向け構築に取り組んでいる。
- ・ジェネクスト社が提供する法人向け交通安全システム「AI-Contact(アイコンタクト)」に関し

ては、明日 6/11 の総会後のセミナーにて制度説明を行う。

- 〔資料 報 4.〕 1.代理店経営相談分類整理 (P.3)  
2.代理店経営サポートデスク相談事案 (P.4-5)

## (5) 日本代協コンベンション企画状況

事務局より、第 10 回日本代協コンベンションの企画状況について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・開催の可否判断を含め、開催する場合の企画案については正式には 7 月 9 日理事会で論議するが、現時点での事務局ベースの企画案を頭出しするので情報共有をお願いする。  
(決定事項ではない)
- ・運営打合せ状況  
メインテーマ案：「これまでの 10 年～これからの 10 年を考える」  
サブテーマ案 ～変わるものと変わらないもの、あなたは どう思いますか？～  
. 式典 [11/5 (金) 12:30～18:00]  
開催形式：リアルとオンラインのハイブリッド開催 (会場は 2 倍の広さを確保、参加者 5～7 割、功労者は全員ご招待)  
挨拶：金子会長、舩曳損保協会長、池田保険課長 (予定)  
功労者表彰：22 名を想定、表彰対象者は全員ご招待、代表挨拶 1 名  
会員懇談会：ハイブリッド開催のため実施しない。昨年度同様に事前 Q&A に対応  
基調講演：「これからの 10 年」を考えるパートと「経営の軸をぶらさず変化に対応する」ことを考えるパートの 2 部構成とする。
  - ・豊嶋 広 氏 (BSTV 東京)「今後の日本社会の変化と中小企業の価値」
  - ・望月 広愛 氏 (MAT コンサル)「働きたくなるこれからの保険代理店」
- . 懇親会：中止
- . 分科会 [11/12 (金) 10:00～15:00]  
式典出席者他も視聴できるよう翌週金曜日に分科会を開催し、オンラインで配信する。講師はオンライン配信・録画 OK の方を選定する。  
栗山 ADV、 選考中 (地域で組織の質を磨く会員) 選考中 (地域で独自の価値を磨く会員)
- . 第 10 回特別企画「パネルディスカッション」 [11/19 (金) 15:00～17:00]  
開催形式：オンライン配信、分科会まで踏まえた企画とするため実施日を翌週とする。  
「あなたは どう思いますか？」というサブテーマに応える形で、分科会まで視聴して気付いたこと、今後の自社のビジョンとそこに至る戦略などについて、若手の経営者によるパネルディスカッションを行う。変化に俊敏に対応しながら前を向いて取り組む若手経営者の姿を通して、各会員のチャレンジ精神を刺激し、次回につなげる。  
コーディネーター：粕谷 A D V

〔資料 番外.〕 第 10 回日本代協コンベンション企画 (原案) (席上配付)

## 3. 情報提供

## (1) 業界動向最新情報

事務局より、業界の最新情報について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

#### ・社労士診断認証制度

代協会員の労働環境の整備と中小企業顧客への情報提供による経営支援力強化を目的として、「人を大切にする企業」であることをアピールすることができる本制度の仕組みを組織として活用する。認証ステージは3段階あるが、20項目の確認シートで現状チェックの上、改善を宣言する最初のステージ：「職場環境改善宣言企業」は無料のうえ約3分で完了するので、取り組んでいただきたい。企画環境委員会でフォローしながら、社労士会と連携したセミナー開催や社労士紹介など、現地ベースの協力関係のもとで、会員の労働環境整備につなげる。

#### ・ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行は、全金融機関が一体となって反対してきた新規業務を5月6日より開始した。損保代理店としてフラット35契約者向けに住宅ローン長期火災保険の募集業務（引受保険会社は三井住友、損保ジャパン）を実施する。全国のゆうちょ銀行のうち41店の直営店のみの取り扱いで、具体的な商品説明や顧客対応自体は保険会社のサポートコーナーが行うことになっている。取扱代理店は、ゆうちょ銀行以外を含めお客さまが自由に選択可能とのことであるが、債務者団体割引も適用されており、他の民間金融機関の場合と同様厳しい競争環境になると考えられる。顧客流失などの事例は企画環境委員会あて情報提供いただきたい。

なお、金融庁に対しては、紹介人的な業務しか行わないゆうちょ銀行に対する保険会社の支払手数料水準が妥当か監督するよう求めている。

#### ・金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習（金融庁）

サイバー攻撃が多発している現下状況において金融庁は第6回目のサイバーセキュリティ演習を実施する。保険代理店においては、近年顧客情報流失事故が続いているため、今年から対象となった。参加には約30万円の費用が必要となるが、当会に2店の参加店推薦の要請があった。個別交渉を行い、参加合意を取り付け、2店を推挙した。顧客情報の漏えいが発生、外部からのマルウェア感染とその拡大を受けて、組織内部の相互連携を確認し、組織外部との連携を確認する机上演習を11月に行う。

#### ・FD原則の改訂対応

「FD原則」はプリンシプルベースに基づき、これを採択した個々の金融事業者がベストプラクティスを競い合うことを狙いとするものであるが、形式的な事例も散見されるため、今回の改訂が行われた。対応に当たって業界団体等がひな型を提示したり、取組をある方向に誘導したりすることは、原則の主旨に反するとされているので、あくまでも自社の判断に基づき、自社の言葉で文章化することが大前提となる。

個別にサポートするので、不明点等あれば日本代協の事務局に相談いただきたい。

#### ・保険会社と事業者団体との独禁法上の関係整理

4/27の意見交換会における独禁法にかかる発言に端を発し、一部歪曲して伝わってい

る事例が確認されたので、独禁法に抵触する恐れがある行為について整理を行った。  
4/27 意見交換会で出た課題については、7/14 開催の「活力研」にて改善に向けた論議を行う。

・V-Hope 保険代理店専用ホームページ構築支援

V-Hope が代協会員向けに提供している「やさしくプラスワン」は現在約 300 店が利用しているが、会員からの要望を反映し、オンライン相談申込フォームをスタンダード以上のプランで標準搭載する改定を行った。申込フォーム、Zoom 面談機能を追加できるように改定したので、更なる活用をお願いする。

〔資料 報 6.〕

- 1.-1 社労士診断認証制度の活用 (P.10) 1.-2 新日本 0524 記事 調印式 (P.11)
  - 1.-3 社労士診断認証制度覚書 (P.12) 1.-4 職場環境改善宣言のチェック (P.13-14)
  2. ゆうちょ銀行開始業務 (P.15-16)
  3. 保毎 0521・0524 記事 FD 原則改訂対応 (P.17-20)
  4. AI-Contact ちらし (P.21-22)
  5. ふうたのワンポイントレッスン 6.-2 (P.23-25)
  6. 業界関連情報 28. ~ 30. (P.26-34)
- 番外. やさしくプラスワン改定お知らせ (追加資料 P.17-18)

## (2) その他

事務局より、下記資料に関する報告があり、確認、共有がされた。

- 〔資料 番外〕
1. 0604 日経夕刊記事 特定修理業者
  2. 第 2 回オンライン de 何でも相談会のご案内 ~ 7/6 (火) 10 時 30 分 ~ 12 時  
中崎章夫アドバイザーに何でも聞いてみよう!
  3. ビジネスチャット direct 無料で使える「フリープラン」開始ちらし  
(全国会長懇談会追加資料 P.4-5)

### 【監事講評】

津田監事から、以下の通り、監事報告がされた。

審議事項は 1 件であったが、問題なく適切に審議決定されたものと判断する。

明日 6/11 の全国会長懇談会にて、地域担当理事には、各代協の総会開催状況に関する報告を、委員会担当理事には諮問推進事項に関する取組状況報告を丁寧に説明いただきたい。

報告事項において、各代協の総会の企画運営上の問題点の報告があった。その点は改善を図っていく必要はあると考えるが、リアル集合が叶わない環境の中で各代協は良く代協活動を展開してこられたと感じている。

ワクチン接種が進み、感染拡大の収束が見通せるようになったら、地域担当理事には各代協の事務局を訪問いただき、現場の実態をみるフィールドワークを実施し、組織活性化を図っていただきたい。

以上

< 今後のスケジュール >

2021年06月～2022年02月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2021年度	6月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第2回理事会 テーマ:総会運営、会長懇談会運営、通常議題	日本代協 会議室 WEB会議Zoom開催
	6月11日(金)	10:00～12:00 13:00～17:00 17:15～18:00	通常総会 政連臨時代議員会・第1回全国会長懇談会 セミナー(AI-Contact情報提供、説明)	日本代協会議室 WEB会議Zoom出席型開催
	7月2日(金)	15:30～17:30 17:45～20:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月8日(木)	13:00～15:00 15:00～15:30 16:00～17:30 17:45～20:00	正副会長と全理事との意見交換会 (7社懇 事前打合せ:正副会長、教育・組織委員長) 損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	WEB会議Zoom開催 リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月9日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	7月14日(水)	15:30～18:00 18:15～20:30	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会(リアル又はWEB)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
	9月9日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00 18:00～	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(日本代協主催)(正副会長と2理事)	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催 中止 2/10開催分に統合
	9月10日(金)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:20～19:30	第1回ブロック長懇談会 特別セミナー(株式会社IB 請求できる保険に気づけるアプリ) 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 未定
	10月8日(金)	9:30～10:45 11:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	11月5日(金)	13:00～20:00	第10回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月6日(土)	10:00～12:00	第10回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他
	12月15日(水)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	12月16日(木)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:10～19:30	第2回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 未定
	2月10日(木)	10:30～12:00 13:00～17:00 18:00～	財務委員会 第7回理事会 テーマ:臨時総会議案、通常議題 損保協会との懇談会(正副会長と2理事)	日本代協 会議室 会場 未定

以上をもって、議案審議を終了し、議長は理事会の終了を宣し、午後 5 時 01 分閉会した。

なお、WEB 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席会長(代表理事)及び出席監事がこれに記名押印する。

2021 年 6 月 10 日

会長（代表理事）                      金 子   智 明   印

監事                                      津 田   文 雄   印

議事録作成者： 小見 隆彦